



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証プライム)
問合せ先 常務取締役 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

2024年6月期 通期業績予想の修正および役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、最近の業績の動向等を踏まえ2023年8月14日公表の2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、この決定を踏まえ経営責任を明確にするため役員報酬の減額を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	20,000	800	745	370	69円50銭
今回修正予想（B）	18,000	100	△135	△547	△102円63銭
増減額（B－A）	△2,000	△700	△880	△917	—
増減率（％）	△10.0％	△87.5％	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2023年6月期）	15,257	94	278	290	54円56銭

2. 修正の理由

当社グループは、拡大を続けるリユース市場において一層の業容拡大を目指し、2024年6月期第1四半期から第2四半期にかけて、個人向けリユース分野において、出張買取人員および車両の増強、リユースセンターの新規拠点開設（大阪東住吉・広島）、増加する買取依頼に対応するためのコンタクトセンターの拡充（錦糸町支社）等の投資を実施いたしました。

〔売上高〕

このような状況下、現在は投資回収から利益創出のフェーズへと移行しつつありますが、出張買取人員の教育や、高粗利案件への対応について当初計画よりも取組に時間を要しており、売上高は期初予想を2,000百万円下回る見込みです。

〔営業利益〕

投資が先行する状況のなか、第2四半期会計期間におけるネット型リユース事業のセグメント利益は、収益力改善および適切な経費コントロールにより142百万円と、第1四半期会計期間の10百万円から増益に転じておりますが、上記売上高および売上総利益の未達を理由に営業利益は期初予想を700百万円下回る見込みです。

〔経常利益〕

当第2四半期累計期間において、株価の予測困難性から期初予想では織り込んでいなかった株価変動に伴うデ

リバティブ評価損 191 百万円を計上しております。これにより経常利益は期初予想を 880 百万円下回る見込みです。

〔親会社株主に帰属する当期純利益〕

当第 2 四半期累計期間において、特別損失として上記投資回収の遅れを理由とした減損損失 190 百万円を計上することにより、親会社に帰属する当期純利益は期初予想を 917 百万円下回る見込みです。

3. 役員報酬の減額

上記業績予想の修正の内容を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり、役員報酬の減額を決定いたしました。

(1) 減額の内容

代表取締役	月額報酬の 30% を減額
専務取締役	月額報酬の 20% を減額
常務取締役	月額報酬の 20% を減額

(2) 減額の対象期間

2024 年 3 月から 2024 年 6 月までの 4 か月間

(注記事項)

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上